

## 特別会計財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却方法

##### 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 30～50年

什器備品 3～10年

#### (2) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しております。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
建物	153,764,163	0	5,727,722	148,036,441
構築物	6,262,924	0	425,042	5,837,882
什器備品	140,853	0	7,193	133,660
建設仮勘定	62,712,965	854,025,500	0	916,738,465
保証金	220,000	0	0	220,000
合 計	223,100,905	854,025,500	6,159,957	1,070,966,448

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
建物	148,036,441	(148,036,441)	-	-
構築物	5,837,882	(5,837,882)	-	-
什器備品	133,660	(133,660)	-	-
建設仮勘定	916,738,465	(916,738,465)	-	-
保証金	220,000	(220,000)	-	-
合 計	1,070,966,448	(1,070,966,448)	-	-

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	156,150,714	8,114,273	148,036,441
構築物	6,440,025	602,143	5,837,882
什器備品	143,850	10,190	133,660
合 計	162,734,589	8,726,606	154,007,983

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	24,815,819
減価償却費計上による指定解除額	6,159,957
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	102,186,000
合 計	133,161,776